

< 商 業 >科 学習シラバス

科 目		簿記	学年・コース	3 年生 ビジネス	単位数	2 単位	教科書	簿記（東京法令出版）									
学習の到達目標			1 簿記に関する基本的な仕組みと技術を理解し、その基本的な仕組みについて理解させる。 2 適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。														
評価の 観 点	A 関心・意欲・態度			B 思考・判断・表現		C 技能		D 知識・理解									
評 価 の 内 容	個人企業の簿記に関心を持ち、その知識と技能の習得を目指し意欲的に取り組むとともに、企業において日常的に発生する取引を適正に会計処理が行えるか。			様々な会計処理や記帳法について自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活かし適切に判断し創意工夫する能力を身に付けているか。適切な会計処理を行う能力を表現できるか。		個人企業における簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、いろいろな場面において適正な会計処理が行えるか。		個人企業における簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、簿記の基本的な仕組みについて理解しているか。									
評 価 の 方 法	・学習活動への参加姿勢や発言内容、態度 ・予習や復習、課題への取組状況 ・レポート、プリント類 ・長期休業中課題			・学習活動への参加姿勢や発言内容、態度 ・予習や復習、課題への取組状況 ・レポート、プリント類		・学習活動への参加姿勢や態度 ・演習や実習への取組状況 ・レポート、プリント類 ・単元テスト、検定問題 ・定期考査		・学習活動への参加姿勢や態度 ・演習や実習への取組状況 ・レポート、プリント類 ・単元テスト、検定問題 ・定期考査、検定試験									
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容				評 価 の 観 点										
							A	B	C	D							
1 学 期	4	決算手続き	・減価償却の間接法、有価証券の評価替えなどの仕組みについて理解する。				○			○							
		精算表・財務諸表									・費用・収益の繰り延べ・見越し、間接法、有価証券の評価などを含めた財務諸表について理解する。						
	5	問題演習	・学習した内容を復習する。 ・検定試験と関連させる。								○	○					
		6	複合仕訳帳制	・特殊仕訳帳・仕訳帳の分割の意味を明らかにし、複合仕訳帳制度の仕組みと長所を理解する。 ・現金出納帳・当座預金出納帳・仕入帳・売上帳を、それぞれ特殊仕訳帳として用いた場合の意義について理解する。													
	問題演習		・検定試験と関連させる。												○		
	7	問題演習	・学習した内容を復習する。														
2 学 期	8・9	本支店会計	・支店会計の独立の意味を理解する。 ・支店会計が独立している場合の本支店間の取引、支店相互間の取引の仕組みを理解する。				○			○ ○							
		問題演習															
	10	問題演習	・本支店合併の総駅計算書・貸借対照表の仕組みを理解する。 ・学習した内容を復習する。								○	○					
		11	特殊商品売買	・割賦販売・委託販売・未着商品売買・試用販売・予約販売の意味を明らかにし、それぞれの仕組みを理解する。 ・自己受為替手形の手形関係を明らかにし、仕組みを理解する。													
	問題演習		・手形が不渡りになった場合の会計手続きを理解する。												○	○	
	12	問題演習	・手形の保証債務の意味を明らかにし、仕組みを理解する。 ・学習した内容を復習する。														
3 学 期	1	問題演習	・検定試験と関連させる。						○								
	2	自宅学習															
	3																
学習のポイント		・授業のなかで、ノートや演習プリントを確実に仕上げる。自宅で復習をして、分からない内容は質問を受ける。															